

# 専門医のための

# 漢方処方原典と条文の手引き

編集 一般社団法人日本東洋医学会専門医制度委員会  
『専門医のための漢方処方原典と条文の手引き』作成小委員会  
緒方千秋・小曾戸洋・福澤素子・若山育郎・栗山一道  
柴原直利・貝沼茂三郎・鈴木邦彦・巽武司  
発行 一般社団法人日本東洋医学会

頻用処方原典とその処方に関する主な条文を一覧としてまとめました。

漢方専門医試験受験申請時や漢方専門医資格更新申請時に提出する臨床報告記載用の参考書としても役立つ内容となっております。

## 2013年12月1日 発刊

本体 5,000 円（税・送料別）

お求めの場合は、学会事務局へお電話、E-mail 等でご連絡ください。

### 安中散

<出典>『勿誤薬室方面』

構成生薬：延胡索、良姜、縮砂、茴香、桂皮、牡蛎、甘草

『勿誤薬室方面』

○ 遠年日近、脾疼、翻胃、口に酸水を吐し、寒邪の氣、内に留滞し、停積消えず、脹滿、腹脇に攻刺す、及び婦人の血氣刺痛を治す。

・ 医療漢方製剤の構成生薬は『勿誤薬室方面』と同じであり、『太平惠民和劑局方』における安中散の構成生薬には縮砂がなく乾姜となっているため、現在の安中散の出典は『勿誤薬室方面』とした。

・ 安中散は『太平惠民和劑局方』の宝慶年間に記載された処方であり、現在の構成生薬となったのは『勿誤薬室方面』からである。

(参考)

『太平惠民和劑局方』(卷三 一切氣)

構成生薬：甘草、玄胡索（延胡索）、良姜、乾姜、茴香、肉桂、牡蛎

遠年日近、脾疼、翻胃、口に酸水を吐し、寒邪の氣内に留め滞して停積消えず、胸脇脹滿、腹脇に攻刺す、悪心嘔吐、面黄肌瘦し、四肢倦怠を治す。又、婦人の血氣刺痛、小腹より腰に連なり、攻疔重痛するを治す。並びに能く之を治す。

お問い合わせ先

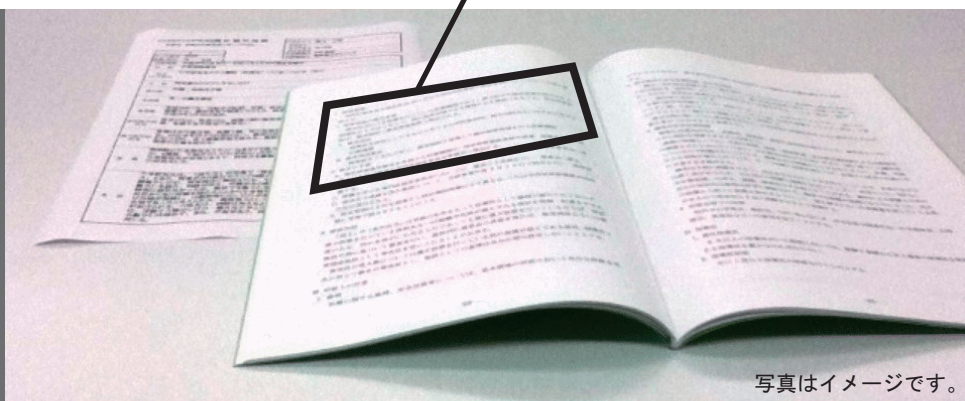
一般社団法人日本東洋医学会  
専門医制度委員会事務局

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18  
国際浜松町ビル 6F

TEL 03-5733-5060

FAX 03-5733-5078

E-mail office@jsom.or.jp



写真はイメージです。